

学生支援

本学における薬学教育カリキュラムの全容、学則、学内の施設とその利用要領などをまとめた『学生便覧』を毎年作成し、新入生オリエンテーションで配布し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるよう学生支援に関してきめ細かく説明しています。

(1) 修学支援

ア. 指導担任等による修学支援

講師以上の教員による「指導担任制」を設けています。本制度は、1人の教員が1～4年次に在籍する各学年6人程度の学生の担任として、修学面や生活面での学生支援を行うシステムです。5、6年次学生は、研究室に所属していることから、所属研究室の（主任）教員が指導担任となります。

指導担任の仕事は、担当学生の出席状況を把握し、欠席が度重なる場合には早めに面談を行うなどの指導をしています。成績評価の結果は、指導担任から個人面談の場で直接学生に通知され、現状の学力分析と今後の成績向上に向けて適切な助言や指導を与えています。同時に学生の保護者には教務課から成績通知書を送付します。Web上でも学生は自分の成績を確認できるようになっています。

HAMAYAKU e-Learning システムは、利用時間に関する制限が無いこと、学内外で利用できるメリットをもっているため、忙しい薬学生には喜ばれて徐々に利用者が増加しています。1～3年生を対象とした「浜薬ベーシック問題集」やCBTや国家試験対策のプログラムなどを用意しています。

授業内容に関する質問には、薬学教育センターに質問ルームを設置し、専門の教員を配置し、個別の質問に対応しています。

また、授業担当教員へ直接質問できる時間は、オフィスアワーとしてシラバスに明示されていますが、それ以外の時間帯でも教員は可能な限り対応することとしています。

イ. 留年生への修学支援

留年生に対しては、主として指導担任が学習指導や生活指導にあたります。年度初めのガイダンスでは、1年間の学習方法を指導しています。すでに合格した科目のうちから希望する科目を再聴講できる制度を設け、学業レベルの維持に努めています。2・3年の留年生に対しては、基礎的事項の復習を行い、進級後の講義に支障をきたすことのないよう特別に講習を実施しています。

ウ. 退学防止

近年、種々の理由により学業を継続できなくなる者が発生しています。退学理由としては、およそ進路変更が38%、経済的な事情11%、学力および学習意欲の問題44%、健康上の理由4%、その他3%でしたが、実際には1つの理由で退学を決めている訳ではなく、複数の要因を含む場合が多くあります。

指導担任と繰り返し面談を行い、退学を申し出た学生については、指導担任が状況を取りまとめ、教務部長または学生部長が面談を行っています。状況によっては保護者を交えて十分に話し合いをし、後に悔いを残さないように指導しています。また、その後の進路については、指導担任、厚生委員、キャリアセンター等が相談に応じています。退学者を少なくするために、教務委員会で学力向上支援方を種々検討し、成績下位学生の学習意欲向上を図っています。例えば、狭い範囲であれば勉強すればでき

るという成功体験を積み上げることによって自信を持たせます。つまり、勉強の仕方を当の教員がまず親切に指導します。また教えていない問題は出さない、出すのであれば自己学習の方法まで教えるというように、教える側の改善をも促しています。留年は退学に繋がることがあるので、このように可能なことから実施し、支援しています。

病気治療・療養のために休学している者については、指導担任が時々連絡して状況を把握し、復学後も円滑に勉学を継続することができるよう支援を心がけています。

エ. 障害者への修学支援

身体障害者の学内における生活は、学生課と教務課が連携して支援するとともに、必要に応じて支援を仰ぐことができる体制を整えています。

また、学内の段差がある箇所にはスロープを設置し、エレベーターやトイレは身障者用を特設し、講義室は車いすでの受講可能にしています。キャンパス内は、バリアフリーとなっています。

学生からの意見や要望を汲み上げるために、学内に2カ所（図書館棟1階および学生食堂）に「提案箱」を設置しています。投書された意見や要望に対しては速やかに対応しています。

オ. 奨学金など経済的支援

奨学金を必要とする学生には、日本学生支援機構奨学金および地方自治体奨学金等の利用を勧めています。奨学金に関する情報は、決められた掲示板で開示しています。また、入学生へのオリエンテーションおよび進級ガイダンスの際に奨学金の申請に関する説明を実施し、メールも送信しています。学生課窓口での相談および電話での個別対応にも応じ、申請漏れ防止に努めています。

日本学生支援機構奨学金採用状況（2016年7月）

入学年度	第一種のみ（人）	第二種のみ（人）	併用（人）	貸与者数(人)
2006年	3	29	9	41
2007年	9	54	13	76
2008年	14	54	13	81
2009年	14	76	13	103
2010年	9	81	16	106
2011年	29	126	14	169
2012年	35	160	8	203
2013年	40	156	20	216
2014年	23	121	26	170
2015年	33	114	35	182
2016年	23	114	36	173

注) 第一種奨学金（無利子貸与）、第二種奨学金（有利子貸与）

上記とは別に、本学独自の奨学金貸与制度、さらに株式会社ジャックス・オリエンテーションを含む金融機関と提携し、学生に教育ローンの利用を紹介しています。また、本学には、成績優秀者

に対する特待生制度や特別奨学生制度があり、その適用を受けている学生も少なくありません。

カ. 学生の読書調査と読書感想文コンテスト（ハマヤクコンテスト）

若者が本を読まないと言われ始めて久しく、IT 化が進む中でその傾向はますます深まっています。本学では「読書」が自己確立を早め、医療人としての自己を自覚させる本 道だと考え、入学後、全教員が「こころの教育」でこのことを強調して重点的に指導しています。さらに学生の読書調査を行い、続いて教員からの推薦図書を紹介、読書感想 文コンテストといった、書物に親しむ一連の仕掛けを、全学をあげて推進しています。

この結果、近年は毎年 100 名前後の応募があり、定着してきています。ハマヤクコンテスト WG の教職員のほか、保護者（後援会役員）や書店担当者が審査に加わり、十数人で厳正な審査を実施し、優秀な作品には最優秀賞、優秀賞などの賞を設けて表彰式を行い、毎年、十数人の学生に賞状と副賞（図書券）を贈って、榮譽を称えています。なお、入賞作品はホームページに掲載するとともに、小冊子として図書館のカウンターに置くほか、後援会の総会でも保護者に配布しています。

(2) 生活支援

学生生活全般にわたる悩みなどに対応するために、修学支援と同様、指導担任教員が学生の生活指導を行っています。なお、本学ではすべての研究室の出入り口がガラスで開放的な設計のため、学生にとって入りやすく、担任以外の教員に対しても気軽に相談を持ちかけることができる環境になっています。

指導担任以外に、学生は学生相談室を利用することができます。ここには常勤の医師の他 8 人の専任教員が学生相談員として配置されており、精神面のケア以外にも様々な相談を受けることができます。さらに、臨床心理士が、カウンセリングを行っています。また、医務室には校医、看護師 2 人が勤務しており、けが等の治療だけではなく心身両面の健康相談にも応じています。また、学内に自動体外式除細動器（AED）を設置しており、教職員、学生がいざという時に使用できる体制にあります。

全学生の健康診断を年 1 回定期的実施し、学生の健康管理を行っています。

本学では、ハラスメント防止委員会と改組して、セクシャル・ハラスメントだけでなくパワー・ハラスメントやアカデミック・ハラスメントの防止活動を進めています。防止委員 11 人、学内相談員 13 人、外部委員会委員 3 人が常時、直接またはメールで相談できる体制にあります。また、相談用のポストが事務センターの入り口廊下に設置されており、同委員会が定期的に投書の有無を調べ、適切に対応しています。また、教職員および学生に年 1 回、防止委員会主催による講習会の開催及びポスターの学内掲示、リーフレットの配布などを行ってハラスメントの防止に努めています。

ア. スクールバスによる通学支援

本学は、JR 戸塚駅、JR 大船駅、小田急線湘南台駅から 20～30 分の位置にあります。このため、神奈中の路線バスに加え、無料送迎のスクールバスにより学生の通学を支えています。現在、大型スクールバス 2 台、マイクロバス 3 台をもって、授業開始と終了に合わせて運行しています。

イ. 防災対策

毎年、戸塚区の消防署員の協力を得て、学生と教職員対象に防災訓練、救急救命体験学習を実施しています。また、地震や火災等の緊急時における適切な具体的対応法を説明したパンフレット「防災マニ

ュアル」、「大地震対応マニュアル」を作成して学生、教職員に配布し、防災対策に努めています。

(3) 進路支援

指導担任や所属研究室の教員は、学生個人の能力や適性、進路選択について学生自身が主体的に考えるよう指導あるいは助言し、学生の進路・就職活動の支援にあたっています。

学生がそれぞれの目指す進路を選択できるよう厚生委員会の下部組織としてキャリアセンターを設けています。センター長（厚生部長）、5名の常駐員が学生の相談にあたっています。

就職（求人）情報やセミナー情報の収集・管理と提供を行うキャリアセンターには、5台のパソコンを設置し、職業適性診断、求人検索等学生の自由な使用に供しています。キャリアセンターは、定期的に就職ガイダンス、マナー講習会、合同企業説明会、ランチョンセミナーなどの企画・開催を担当しています。また、卒業生も、卒業後2年間、利用できます。

厚生委員会の概要並びにキャリアセンターの年間行事予定は、本学のホームページおよびキャリアセンターパンフレットで公開しています。また、進路や就職に関する情報は、キャリアセンター内および専用掲示板に掲示すると共に、関連学年へのメールマガジン配信により周知徹底しています。